

「システム開発方法論への科学的アプローチ研究会」研究会

2018年度第1回勉強会のご案内

2018年6月20日

情報システム学会同上研究会発

1. 日時：2018年8月20日（月）午後2時00分～午後5時
2. 場所：株式会社プライド会議室

■場所

株式会社プライド

東京都千代田五番町12番地1

番町会館3F

TEL：03-3239-5431

FAX：03-3239-5432

■アクセス

<https://www.naska.co.jp/corporate/access>

JR四ツ谷、JR市ヶ谷から共に徒歩5分

3階エレベータ前の株式会社インフォメーション・ディベロプメント社総合受付 左手奥「303会議室」です。

3. 発表

AI、IoT、人型ロボットなど、新たなIT動向が世間をにぎわせているが、「人間のための情報システム」をどのように構築すべきかという観点でいえば、我々は大きな課題に直面しているといえる。長く親しんできたシステム開発方法論を見直す機会の到来である。変化する現象の中に普遍的な構造や法則を見出すことができれば、奔流を突き進む航海を約束する方法論の構築が期待できる。本研究会では、こうした課題意識に立ち、「科学」の観点を武器とするアプローチによる新たなシステム開発方法論の可能性を探究する。

以上は、今年度立ち上げた当研究会の設立宣言である。

今回は、方法論ビジネスの草分けである株式会社プライド様の北村充晴氏を講師に迎え、方法論とは何かの原点からお話を伺い、議論を楽しみます。

講師：北村充晴氏 株式会社プライド代表取締役

タイトル「システム開発方法論の完備性について」

世の中、さまざまな方法論が存在するが、そもそも方法論とは何でしょうか？

方法と方法論の違いは何でしょうか？

システム開発方法論「プライド」は、その創めから“方法論=方法+コンセプト”と主張し、今もその理念は変わりません。

今回の発表では、方法論のメタ構造や備えるべき要件について仮説をたて、プライドのフェーズドアプローチやアジャイル手法、その他手法の“完備性”について例示して比較検

討します。現場での方法論のありかたを考える参考になれば幸いです。

参加費：無料

★研究会の後、懇親会を催します（費用は実費）。

研究会の参加希望の方は以下のメールアドレスにメールをください。

nakanishi-m@nagoya-ku.ac.jp 中西昌武（名古屋経済大学）宛て

以上